



# GPS III

デルタダイレクト エボルヴァ GPS III

この度は、エボルヴァ GPS III をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

ご使用前に取扱い説明書をお読み頂き、正しくお取り付けの上ご使用ください。なお、誤った取り付けや不適当なご使用がもとで発生した破損・事故等につきましては、一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

●弊社の「取扱い説明書」には、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご利用いただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。

●本書はいつでも取り出してお読み頂けるように、車内に大切に保管してください。

●本製品をあなたから第三者へ譲渡する場合は、必ず本書もいっしょにお渡しください。

●販売店様がお取り付けされた場合は必ず本書をお客様にお渡しください。

#### 本文中のマーク説明(表示と記号)

**危険** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことに至る切迫した危険状況を示します。

**警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険状況を示します。

**注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷または中程度の損害を追う可能性が想定される危険状況、及び物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

**お願い** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、故障する内容及び利用できない機能や事項などの説明を示します。

#### ■必ずお読みください■

本製品は客観的にカメラを設置した場所から走行風景の映像を記録することを目的として開発された車載用長時間映像記録装置です。走行風景を記録しますが必ずしも全ての事件・事故の記録を保証する製品ではありません。万が一、映像が記録されなかった場合や記録したデータが破損した場合などにつきまして、弊社は一切の責任を負いかねますので了承ください。

※以下の状況などで映像が記録されないことがあります。

1.本製品が作動していないかった場合。

2.本製品にマイクロSDカードを挿し込んでいた場合。

3.外部からの強い衝撃を受けたことにより本製品が破損した場合。

4.記録中にマイクロSDカードが取出された場合。

5.本取扱説明書の記載通り正しく設置されていなかった場合。

6.車両のバッテリー容量が著しく低下した場合。

7.車両の電気系統に異常がある場合。

#### ■安全のため、以下の事項を必ず守ってください■

ご使用される前に下記の事項をよくお読みいただき、正しくお使いください。ここに示す注意事項は、本製品を安全にお使いいただきお客様や他の方々への危険や損害を未然に防止するためのものです。

本文中「本製品」とは、エボルヴァ GPS III本体及び接続する付属部品をさします。

#### ■製品について

●お客様ご本人又は第三者が、本製品及び付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害について弊社は一切の責任を負いませんので、予めご了承ください。

●本製品は、改造車両に適合するものではありません。改造車両に装着する場合は法令で定められた改造申請などの届け出をして検査合格後にご使用ください。ただし、その場合車両が損傷することがあります。弊社は一切その責任を負いませんので、予めご了承ください。

●本製品及び付属品に改造などを加え、指定車両以外の車両に取り付けて発生する不具合、改造車両の損傷につきましては、弊社は一切その責任を負いませんので、予めご了承ください。

●本製品の取り付け、及び取り外し作業中に破損した本体及び車体に関し弊社は一切その責任を負いませんので、予めご了承ください。

●本製品及び付属品は、改良のため予告なく変更する場合があります。

●製品が正常に作動するためには、車両の電気系統が正常であり、改造されていない事が条件となっております。

#### ■危険

●車庫あるいは屋内等換気の悪い場所で、エンジンをかけて本製品を使わないでください。車両の排ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒もしくは窒息死の恐れがあります。

●お子様の手の届かない場所に保管してください。お子様が誤って本製品を破損すると危険です。また、電源コードが首に巻きつけると窒息する恐れがあります。

●DC12V・24V車以外の電源を使用しないでください。火災や感電又是製品損害の原因となります。

●本体ユニットの内部に水を入れたり、濡らしたりしないでください。本体ユニットは防水処理が施されています。

●本製品に火を近づけたり、水中に投げ込んだりしないでください。火災・感電等の原因となります。

●本製品は本取扱説明書どおりに所定の位置に正しく取り付けてください。誤った取り付けをされると製品が正しく作動しないだけではなく、運転への支障や運転中に製品が落下する可能性があり、損傷や怪我の原因となります。

●本製品を落としたり、強い衝突を与えるとしないでください。故障や火災の原因となります。

●本製品は走行中の記録だけに使う装置です。車載用の記録以外の目的には使わないでください。

#### ■警告

●本製品を分解あるいは改造しないでください。感電する原因となります。点検・修理の必要がある場合は、お買い上げの販売店あるいは弊社にご依頼ください。

●本製品より煙が出る、あるいは焦げ臭い匂いがある場合は本製品を使用しないでください。火災や感電の原因となります。

●すぐに本製品を取り外しお買い上げの販売店、あるいは弊社へご連絡ください。

●メンテナンスあるいはお手入れの時は、アルコール、ベンジン、シンナー等の引火性溶剤の使用はご遠慮ください。火災の原因となります。

●電源ケーブルを傷つけたり破損させないでください。また本製品の取り付けを行な際は、電源ケーブルに負担がかからないように配線してください。漏電により火災・感電の原因となります。

●濡れた手や体で電源ケーブル及び本製品に触らないでください。感電する危険があります。

●キーホルダー等の金属類もしくは導電特性のある物で電源ケーブルの「+」と「-」を接触させないでください。感電やショートの原因となり、本製品が発火し、正常に動作できなくなる恐れがあります。

●本製品を使うことによって、運転技術がうまくなることはありません。実際の交通規制に従って運転してください。必ず道路標識等の規制に従って運転してください。危険あるいは容易に交通事故を招くような運転は決して行なわないでください。

●運転者は走行中に本製品の調整を行なわないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。調整する必要がある場合は必ず安全な場所に停車してから行ってください。

●走行中に本製品が落下などしないよう取り付けてください。市販のコードストップバーで電源ケーブルを適切に固定してください。

●お取り付けの車種・構造によっては、本体、もしくは電源ケーブルが他の車載機器に影響を及ぼすことがあります。

#### ■注意

●本製品に異物を入れないで下さい。部品のショートなどにより火災の原因となることがあります。

●エンジンを止めた状態(バッテリー消耗中)で本製品を長時間使用しないで下さい。バッテリーが消耗し、エンジンがかからなくなることがあります。

●本製品の保存温度を超えた環境もしくは極端に高温・低温になる場所に放置しないで下さい。夏場の長時間日光の当たる場所や極端に低温の場所に放置すると、変形・故障の原因となることがあります。

●本製品の動作温度を超えた環境で使わないでください。変形・故障の原因となることがあります。

●本製品を取り外す時、必ず電源を切ってから取り外してください。電源が入ったまま本製品を取り外すと故障の原因となります。

●汚れているマイクロSDカードを使わないでください。ホコリや水気もしくは他の液体がついているマイクロSDカードを使うと故障の原因となります。

●電源ケーブルが運転者の視界または運転操作の邪魔にならないように配線してください。

●電源ケーブルが車両の金属部でこすれたり、可動部(シートレールなど)に挟み込まれたりしないように注意してください。

●故障・損害の原因となる可能性があります。

●LED式信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断してください。LED式信号機が映らない場合は弊社は一切の責任を負いません。

●本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。被写体のプライバシーなどの権利を侵害した場合については弊社は一切の責任を負いません。

#### ■使用上の注意事項について 取り付け前に必ずご確認いただく重要な注意事項があります。

■マイクロSDカードを取り出す際は、本製品の電源をOFFにすることを確認してから(LEDインジケーターランプが消灯)、マイクロSDカードを取り出してください。電源がONの状態でマイクロSDカードを取り出すと、録画データが破損し、本体が故障する恐れがあります。

■マイクロSDカードは指示された方向に、正確に挿入してください。誤った方向に無理やり挿入すると、マイクロSDカードまたは挿入スロットの破損等、故障の原因となります。

■マイクロSDカード以外の物をマイクロSDカード挿入スロットに挿入しないでください。故障の原因となります。

■マイクロSDカード挿入に当たり、過度に強い力をかけないでください。故障の原因となります。

■本体に電源を投入して約30秒後、映像の記録開始となります。

■本システムには蓄電式バックアップ電源があり、起動する度に自動的にバックアップ電源は充電されます。初めて使用する時、又は10日以上の使用がなく再度起動する際、バックアップ電源が充電されていない状態での起動になるため、内蔵時計の日時設定を再度行なってください。また、寒冷地においてはバックアップ電源の持続が4日程度に短縮される場合があります。

■本製品は8GBから32GBのマイクロSDカードでの対応となるため、指定容量以外のマイクロSDカードは使用しないでください。(クラス10推奨)

■本製品の記録ファイル名は、当該ファイルの記録開始時刻(日付/時間)をファイル名としています。初めて使用する時は、日時設定を必ず行ってください。

■内蔵時計(RTC)の電源は充電式のため、10日間以上放置された場合、RTCの日時設定を再度行ってください。

■本製品はAVI形式で連続記録を行います。容量が一杯になった場合は、古いデータから順次上書きします。

■カメラのレンズが汚れている時や水滴がついているときなどは、撮影した画像が見づらくなる可能性があります。

■運転前は必ず本製品の時間設定が正しいかを確認してください。日時がずれている場合は、日時を再度設定してください。

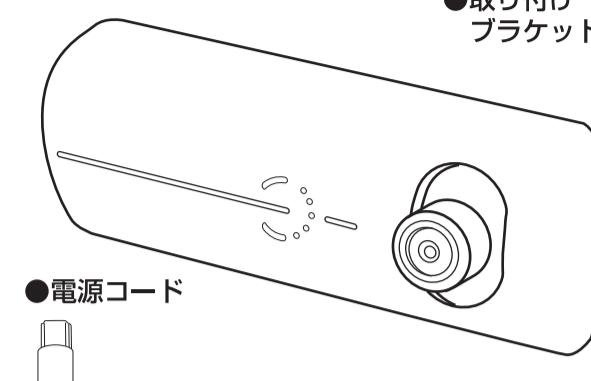
■本製品は車両のシガーライターソケットに接続することにより給電されます。そのため、車両のシガーライターソケットはエンジンオフ時にシガーライター電源もオフになるとことを確認してください。エンジンオフ時でもシガーライター電源がオフにならない場合はシガーライターフラグの抜け忘れにご注意ください。バッテリー上がりの原因となります。

■シガーライターフラグは、奥までしっかりと挿し込んでください。ガタつき等がある場合、もしくは簡単に抜けてしまう場合は使用しないでください。火災・感電の原因となります。

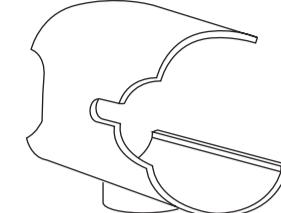
■録画データを管理する再生ソフトは本製品からマイクロSDカードに書き込みます。マイクロSDカードの交換を行なった場合は、必ず本製品でフォーマットを行なってください。

構成部品 取り付け前に必ず部品内容をご確認ください。※マイクロSDカードは別売となります。

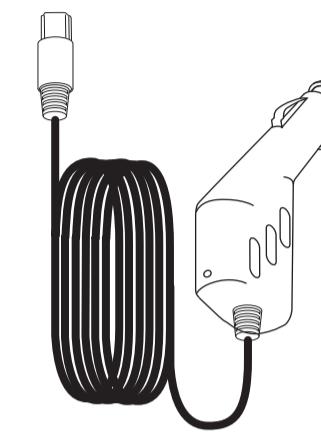
#### ●本体ユニット



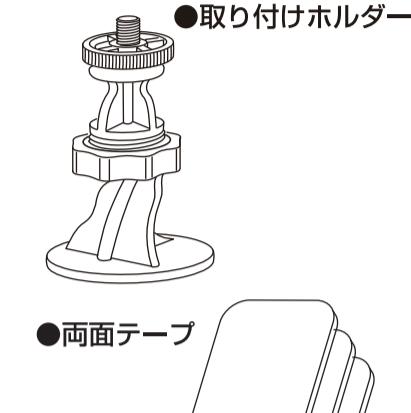
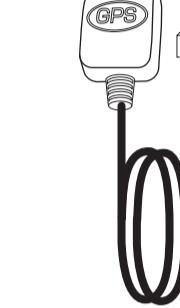
#### ●取り付け ブラケット



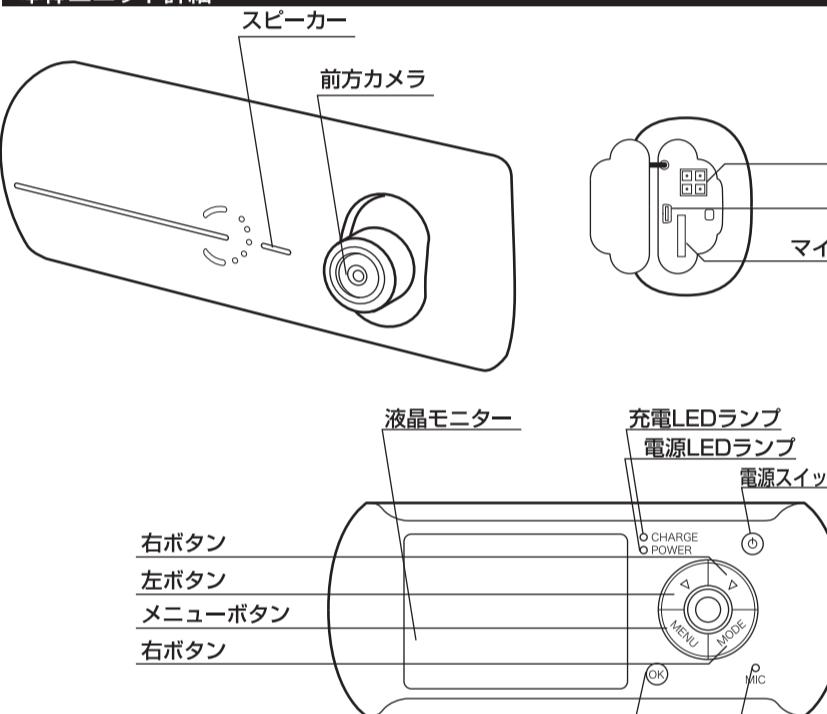
#### ●電源コード



#### ●GPSユニット



#### 本体ユニット詳細



- 充電LEDランプ
- 電源LEDランプ
- 電源スイッチ
- 右/左ボタン
- メニュー ボタン
- モード ボタン
- 前方カメラ
- 後方カメラ
- OKボタン
- マイク
- スピーカー
- 液晶モニター
- 充電LEDランプ
- 電源LEDランプ
- 電源スイッチ
- CHARGE
- POWER
- OKボタン
- マイク

#### 取り付け方法 取り付け前に必ずご確認いただく重要な注意事項があります。

##### ■取り付け位置の確認

- 前面ガラス(フロントガラス)上縁から前面ガラス実長の20%以内の範囲。
- 運転席側から見て、ルームミラーに隠れる範囲。

上記、2点の条件を満たす位置で視界の妨げにならない位置。

**注意**

- 取り付け位置は保安基準やその他の法令に従ってください。
- 雨天の際、鮮明に撮影できない可能性があります。ワイパーの稼働範囲内にお取り付けください。

##### ■取り付け方法

- 取り付け位置の油分やホコリ等をしっかりと拭き取ります。

- 本体ユニットにブラケットを取り付け、予めホルダーの角度を調整し取り付け位置に取り付けます。

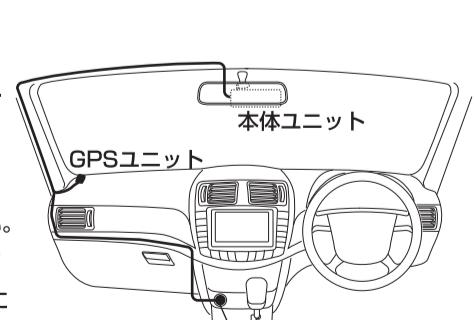
※取り付け後ホルダーの吸盤がしっかりとついているか(定期的に)ご確認ください。

- 電源コード・GPSユニットを接続して市販のコード

スロットルペダルで右図をご参照の上、取り回してください。

※視界の妨げにならない位置や可動部などで配線はさまないように取り回してください。

- GPS受信機をダッシュボードなどの受信できる位置に固定してください。



##### ■テスト録画

本機を1分程度作動させ、画像の記録・閲覧をし下記の事項を確認してください。

※詳しくは裏側の“基本操作”をご参照ください。

- カメラモジュールの撮影範囲※正しい撮影範囲の目安は録画画面の車外と車内の比率が5:1です。

- 日時の設定。

- 音声の記録。

-

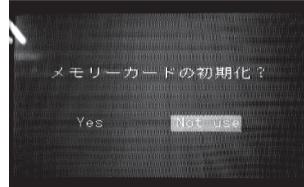
## 操作説明

はじめに、レコーダー本体にはバックアップ電源用のバッテリーが内蔵されています。出荷時はバッテリー残量が少ないため、初期設定を行うときは必ず電源ケーブルを接続した状態で操作してください。

## ■ 基本操作

1. ドライブレコーダー本体のマイクロSDカード挿入口に、マイクロSDカードを挿入します。一番奥まで差し込むと「カチッ」という音とともにロックされます。もう一度、強く押すとロックが解除されマイクロSDカードを取り出すことができます。

2. 液晶モニターに「メモリーカードの初期化？」という画面が出てきます。  
「Yes」を選択しOKボタンを押して初期化を行ってください。



既に録画データが記録されたマイクロSDカードの場合、初期化するとすべてのデータが消去されます。あらかじめバックアップを行ってから初期化してください。

3. マイクロSDカードの初期化を行うと、録画したデータの再生や管理を行う再生ソフトがマイクロSDカードに書き込まれます。これで録画する環境が整います。

△ 注意 本体が起動中や録画中は絶対にマイクロSDカードを抜き差ししないようにしてください。

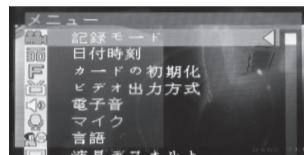
4. マイクロSDカードの初期化が終了すると自動的に録画が開始されます。  
OKボタンを押して録画を停止します。各部の設定を行うため、液晶モニター左上の「REC」マークが消えていることを確認します。

△ 注意 液晶モニター左上の「REC」マークが表示され、本体が録画状態にある時、GPS電波エラーマークがゆっくり点滅する場合があります。  
これはGPSアンテナが電波を受信できないときに入力されますので、GPSアンテナの取り付け位置を再度ご確認ください。

△ 注意 OKボタンを押して録画を停止した状態で放置すると、録画を停止した時から約3分後に電源がOFFになります。再度電源をONにしてご使用ください。



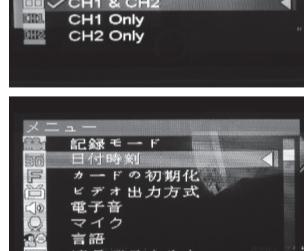
5. 各部の設定を行います。録画が停止されていることを確認し、メニューボタンを押して液晶モニターにメニュー画面を表示します。



6. 記録モードの表示の時にOKボタンを押すと下の画面が表示されます。

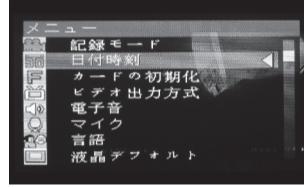
「CH1 & CH2」は前後二つのカメラで録画します。  
「CH1 Only」は前方カメラのみで録画します。  
「CH2 Only」は後方カメラのみで録画します。

▶ 右ボタン、▶ 左ボタンで記録モードを決定しOKボタンを押して設定します。



7. メニュー画面で▶右ボタンを1回押し、日付時刻を選択しOKボタンを押します。

画面表示にしたがって▶右ボタン、▶左ボタンで数字を選択し、OKボタンで設定します。



8. メニュー画面で▶右ボタンを2回押すとマイクロSDカードの初期化が選択されます。新しいマイクロSDカードやその他のマイクロSDカードを使うとき、記録エラーが発生したとき、記録したデータをすべて消去するときに使用してください。

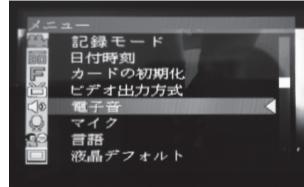
9. メニュー画面で▶右ボタンを3回押すとビデオ出力方式が選択できます。

NTSCの方が録画時間を長くできますので、こちらを選択してください。▶右ボタン、▶左ボタンで選択しOKボタンで設定します。



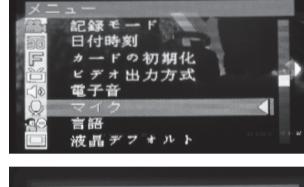
10. メニュー画面で▶右ボタンを4回押すと電子音が選択できます。こちらは本体のボタンを押したり、センサー等が起動したときに鳴る電子音を鳴らないようにすることができます。

▶右ボタン、▶左ボタンで選択し、OKボタンで設定します。



11. メニュー画面で▶右ボタンを5回押すとマイクが選択できます。  
こちらは本体内蔵マイクで外部音声を録音するかどうかを選択します。

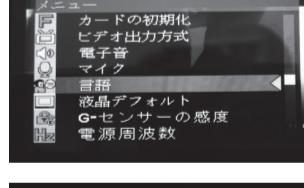
▶右ボタン、▶左ボタンで選択し、OKボタンで設定します。



12. メニュー画面で▶右ボタンを6回押すと言語が選択できます。

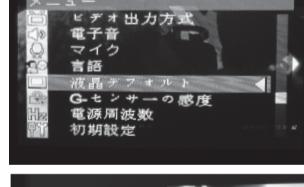
▶右ボタン、▶左ボタンで選択し、OKボタンで設定します。

△ 注意 基本設定は日本語になっておりますので設定の必要はありません。



13. メニュー画面で▶右ボタンを7回押すと液晶デフォルトが選択できます。  
こちらは本体の電源が入っているとき、録画しているときに液晶モニターを非表示にすることができます。

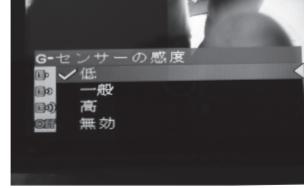
「切」を選択すると本体に電源が入ったとき、何かボタン操作を行ったときから約5秒後に液晶モニターの表示が消えます。  
「行」を選択すると液晶モニターが常時表示されます。  
▶右ボタン、▶左ボタンで選択し、OKボタンで設定します。



14. メニュー画面で▶右ボタンを8回押すとGセンサーの感度が選択できます。  
こちらは録画フォルダのG-LOCK(上書きされないように保護すること)を行うときに振動、衝撃の感度を3段階に設定できます。

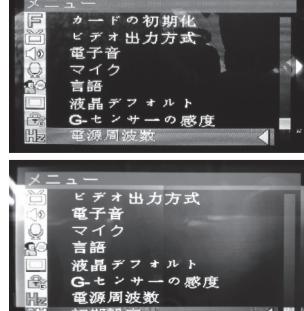
「低」かなり大きな衝撃が加わったときにフォルダーをロックします。  
「一般」日常的な振動が加わったときにフォルダーをロックします。  
「高」小さな振動が加わったときにフォルダーをロックします。  
「無効」フォルダーロックは行われません。

▶右ボタン、▶左ボタンで選択し、OKボタンで設定します。



15. メニュー画面で▶右ボタンを9回押すと電源周波数が選択できます。こちらはご使用地域に応じて設定ください。

▶右ボタン、▶左ボタンで選択し、OKボタンで設定します。



16. メニュー画面で▶右ボタンを10回押すと初期設定に戻すが選択できます。  
こちらは各種設定を一からやり直すときに使用してください。この操作を行うと予め設定した記録がすべて消去されますのでご注意ください。

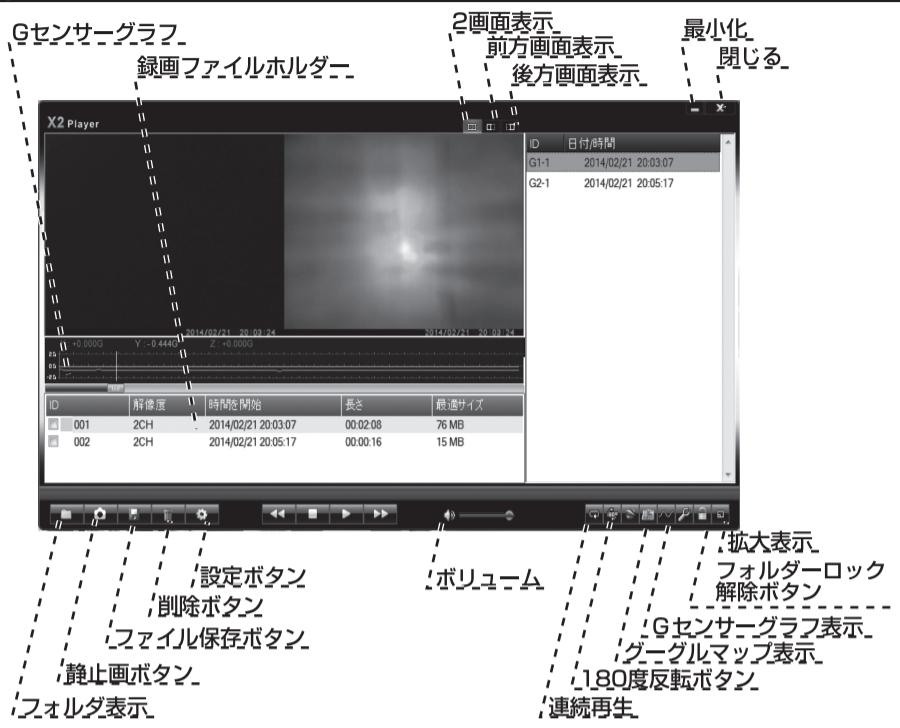
▶右ボタン、▶左ボタンで選択し、OKボタンで設定します。

## 録画データの再生手順

ドライブレコーダー本体の液晶モニターで再生する場合、下記手順で行ってください。

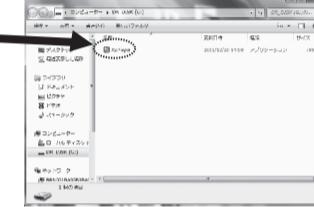
1. 本体が録画中の場合、OKボタンを押して録画を停止します。
2. モードボタンを一回押すと一番古いデータの静止画が表示されます。
3. 次にOKボタンを一回押すとそのデータが再生され、もう一度OKボタンを一回押すと再生を停止します。
4. 再生が停止しているとき、▶右ボタンと▶左ボタンで見たい動画ファイルを探すことができます。

## 各部の名称



## 操作手順

1. ドライブレコーダー本体からマイクロSDカードを取り出し、パソコンのカードリーダーに挿入する。
2. 開いたファイルの中にあるX2Playerをクリックし実行する。



3. 再生プレイヤーが立ち上がり、録画ファイルホルダーに録画ファイルが表示される。
4. 録画ファイルをクリックすると再生開始。

## ■ フォルダのアイコンについて



Gロックフォルダーとは、Gセンサーの感度を設定している場合、録画中に大きな衝撃が加わったフォルダーが上書きされないように保護する機能です。

Gロックの解除は再生プレイヤーで行うことができます。

フォルダーエラーとは、録画中にファイルを生成する段階で異常終了したときに発生します。  
これはパソコンの強制終了と同じで、データが保存されません。

## 録画データの保存について



左側の画像は再生プレイヤーの左下部分を拡大したものです。

録画データをパソコンに保存する場合、まずファイル保存ボタンをクリックします。

別ウインドウでフォルダーの選択画面が表示され保存したいフォルダーを指定します。

「すべてのファイル」にチェックを入れると一括して保存できます。

次にパソコンの保存先を指定し保存作業完了となります。

## ■ 保存先のデータを再生プレイヤーで再生する方法



再生プレイヤー左下のフォルダーディレクトリ表示ボタンをクリックすると、別ウインドウでファイル参照が開きます。

保存先の動画フォルダを指定しOKをクリックします。

録画ファイルホルダーに保存先のファイルが表示されたら作業完了です。